

家族サークル

岡山子育て応援団 Ppymama

活動内容

岡山子育て応援団 Papy mama

パピママはママたちで運営する「家族サークル」

☐ 設立

2010 年 7 月

(パピママキッズプロジェクト：2016 年 4 月)

☐ 運営メンバー

子育て中の主婦が等身大の子育て目線で運営しています。

- ・樋口由香（立上げ時：長女 2 歳）
- ・西川敬子（立上げ時：長女 4 歳）
- ・石川智美（立上げ時：長女 3 歳・次女 6 ヶ月）

☐ パピママとは？

子どもたちを真ん中に家族 3 世代で楽しめる「家族サークル」

☐ 主な活動内容

家族で楽しめる手づくり体験会、文化的活動に触れる体験会やイベントの企画・運営をとして子育てに活かしています。

また「パピママキッズプロジェクト」では

子供たちが自ら企画するこを実現しながら様々な体験をすることでコミュニケーション能力など生きる力を身につけています。

☐ パピママまつりについて

2013 年より年 1 回開催している子どもたちとその家族のための大規模イベント

「岡山子育て応援団パピママ」主な活動内容

□ 2010

- 7月1日 「岡山子育て応援団 Papymama（パピママ）」発足
- 9月11日 「親子 de アート」 開催
- 10月13日 「交流会」 開催
- 11月5日 岡山県高齢者福祉生活協会主催「高齢者の主張」ファッションショーのゲスト出演
- 1月8日 「交流会」 開催
- 12月4日 「ちょっぴり早いクリスマス音楽会 With バルーンアート」 開催
- 1月30日 「家族で英語教室」 開催

□2011

- 2月7日 「交流会」 開催
- 2月20日 「家族で英語教室」 開催
- 2月23日 「歯のお勉強会」 開催
- 2月25日 「子どもと一緒に！着付け教室！！」 開催
- 3月3日 「子どもと一緒に！着付け教室！！」 開催
- 3月4日 「交流会」 開催
- 4月3日 「春らんらん★紙芝居ぼびいさんと行く！チンチン電車だ！！パピママ号！！！」 開催
- 4月7日 「子どもと一緒に！着付け教室！！」 開催
- 4月20日 「歯のお勉強会」 開催
- 4月25日 「交流会」 開催
- 5月15日 「親子でカメラ教室」 開催
- 6月3日 「アレルギーっ子も一緒に！！お菓子教室」 開催
- 6月23日・24日 「お水でベビーマッサージ」 開催
- 6月20日 「交流会」 開催
- 7月10日 「ちあ〜ずキッズ撮影会&楽々BBQ」 開催
- 9月25日 第1回「パピママまつり」 開催
- 12月11日 「家族で楽しむ★ジャズ&キャンドルでハッピークリスマス」 開催

□ 2012 年

- 2月5日 「被災地の子ども達に笑顔をとどけよう」袋詰め作業
- 2月23日 「学んじゃおう！！ハンドマッサージ&保険のノウハウ★
～みんなで聞けば怖くない！知識もキレイも手に入れちゃおう～」 開催
- 3月7日 「「被災地の子供たちに笑顔をとどけよう」物資を発送しました
- 4月22日 「思いっきりプラレール★みんなでつくろうパピママタウン」 開催
- 5月23日 「歯のお勉強会」 開催
- 8月6日 「子どもも大人も英語で遊ぼう★」 開催
- 8月26日 「みんなでやっちゃう?!車にお絵かき！！
～ダイナミックな夏の思い出～」 開催
- 10月3日 「プチ モデル体験」 開催

- 11月3日 「カメラ教室」開催
- 8月11日 第2回「パピママまつり」
- 12月16日 「クリスマス会」開催
(山陽新聞社 LaLaOkayama クリスマスイリュージョン ママエリア企画・運営)

□ 2013 年

- 1月29日 「セルフエステ体験&交流会」開催
- 2月20日 「歯のお勉強会」開催
- 3月2日 「日々成長する子どもの等身大ポスターをつくろう！！」開催
- 3月9日 「フリーマーケット&お店やさん体験」開催
- 5月26日 「のんびり田舎であそぼう」開催
- 5月30日 山陽新聞社 LaLaOkayama 「ママのための one day party」
ママブース企画・運営 (山陽新聞社本社ビル)
- 7月31日 「アロマでクラフト教室」開催
- 8月18日 「夏こそ！！！親子でスケートレッスン」開催
- 10月27日 第3回「パピママまつり」開催 (倉敷芸文館)

□ 2014 年

- 3月21日 「パピママ Presents 体験型ロールプレイングゲーム『にげだしたうさぎをさがせ』」開催
- 5月31日 「日本の文化再発見！！「畳縁」工場見学&ミニ畳ワークショップ」開催
- 6月21日 第4回「パピママまつり」開催
- 10月5日 「まるめて、みがいて！究極のピカピカ泥だんごづくり」開催

□ 2015 年

- 6月9日 山陽新聞社 LaLaOkayama 『Happy Collection Day』
ママエリア 企画・運営
- 7月20日 山陽新聞社 LaLaOkayama 『Summer Collection』(イオンモール倉敷)
ママエリア 企画・運営
- 10月4日 第5回「パピママまつり」開催

□ 2016 年

- 1月18日 「節分にサプライズはいかが？！『デコ巻きずし体験』」開催
- 3月27日 「親子でお茶会」開催
- 4月17日 「RSK ハウジングプラザ イースターパーティ」
企画・運営
- 5月17日 山陽新聞社 LaLaOkayama 『Happy Collection Day』
ママブースエリア企画・運営
- 7月21日 山陽新聞社 LaLaOkayama 『Happy Summer Collection』
ママブースエリア企画・運営
- 10月23日 第6回『パピママまつり』開催

1年に1度『パピママまつり』を開催しています

子ども達を真ん中に3世代揃って
「家族」が一日中楽しめる場所になることを願って・・・！

- テーマ：未来へのかけ橋～今日の出会いがずっと宝物～
- イベント内容：家族で楽しめるワークショップ・ハンドメイド品販売・飲食ブースの出店。
- 参加型で催し物（ステージ）も開催しています。
 - ・御餅なげ(お菓子)、バルーンリリース、科学実験、習い事の発表 など
- 来場する人たち：親子・祖父・祖母
- 動員数：約 3000 人～5000 人

■ 私たちの想い（イベント趣旨）

○体験・体感

等身大の母親運営＆目線でのイベント。

日常では体験することの少ない、「リアル体験」を身近に子ども達と共有することで、
感性の種まきや子供たちの未来の無限の可能性への気づき。
遊びの中からの「学び」で「現実的な夢」を持つきっかけ作り。

- 主催：岡山子育て応援団 パピママ （HP <http://papymama.com>）
- 後援：岡山市・岡山市教育委員会・倉敷市・倉敷市教育委員会・山陽新聞社
- 問合せ先：岡山 090-8062-9658（石川智美）
メール mama@papymama.com（担当：石川）









岡山、倉敷のママ友が子育て応援団

大きな家族になろう



子育て応援団パピママが開いたイベント。親子でアートを楽しんだ。9月、玉野市の深山公園

岡山、倉敷市などの「ママ友」たちが、会員制の子育て応援団「Papymama(パピママ)」を立ち上げた。会員同士支え合い、子育てに取り組もうとイベントや交流会を開いている。(池葉須則夫)

北山智美さん(33)は岡山をモットーに、約30家山形市南区浜野の乳幼児が参加。情報交換や子育て中の30、40歳代、息抜きの場として月1の4人が中心となり、8回程度、交流会を開いて月1に発足した。「やりとり、ホームベジでたい」を実現すること、意見交換している。

8月発足 HP、交流会で意見交換

1-8811。

9月には、プロのイラストレーターを迎えてアートイベントを玉野市で開催。11月はファッションショー、12月4日は、岡山市内でクリスマス音楽会も開く予定。今後も会員の趣味や人脈を活用し男の料理、パン作り、習付けなどの教室も計画している。

北山さんは「親だけでなく、祖父母、学生や一般の社会人など、子育てを応援しようという人にはどんな加わってほしい」と話し、「悪いことをすれば、他人の子どもでも注意できる雰囲気にし、大きな家族のようなサークルを目指す」と意気込んでいる。

年会費2千円(1家族、本年度中は千円)。初回のみ仮登録でイベントに参加(有料)できる。イベントや託児のボランティアも随時募集している。パピママ事務局(papymama@com 086-201-8811)。

情報交換、息抜きの場に

2010年11月30日 山陽新聞



岡山、倉敷市などの「ママ友」たちが、会員制の子育て応援団「Papymama(パピママ)」を立ち上げた。会員同士支え合い、子育てに取り組もうとイベントや交流会を開いている。

北山智美さん(33)は岡山をモットーに、約30家山形市南区浜野の乳幼児が参加。情報交換や子育て中の30、40歳代、息抜きの場として月1の4人が中心となり、8回程度、交流会を開いて月1に発足した。「やりとり、ホームベジでたい」を実現すること、意見交換している。

岡山などの「ママ友」 30家族参加し応援団



子育て応援団パピママが開いたイベント。親子でアートを楽しんだ。9月、玉野市の深山公園

月1回程度、交流会を野市で開催。11月はファッションショー、12月4日は、岡山市内でクリスマス音楽会も開く予定。今後も会員の趣味や人脈を活用し男の料理、パン作り、習付けなどの教室も計画している。

北山さんは「親だけでなく、祖父母、学生や一般の社会人など、子育てを応援しようという人にはどんな加わってほしい」と話し、「悪いことをすれば、他人の子どもでも注意できる雰囲気にし、大きな家族のようなサークルを目指す」と意気込んでいる。

年会費2千円(1家族、本年度中は千円)。初回のみ仮登録でイベントに参加(有料)できる。イベントや託児のボランティアも随時募集している。パピママ事務局(papymama@com 086-201-8811)。(池葉須則夫)

第1全県

2011年(平成23年)3月29日 火曜日

山 陽 新 幹 線

子育て中の主婦ら
路面電車イベント
被災親子を招待

来月3日、岡山

傷ついた心を癒やし、
て。県内の子育て中
の主婦らでつくるサー
クル「岡山子育て応援
団バビママ」(約60家
族)は、4月3日に岡
山電気軌道の協力で開
催する路面電車のイベ
ントに、東日本大震災
で被災した親子を無料

午前9時半にJR岡
山駅東口の噴水前に集
合。同駅前から貸し切
り路面電車に乗り、沿
線でサークル会員の家
族らが掲げる動物やキ
ャクターのパネルを
探しながら東山車庫
(岡山市中区徳吉町)
に向かう。到着後は運
転席に座ったり写真撮
影が可能で、紙芝居や
格納車両の見学もあ
る。

サークル会員の石川
智美さん(33)は岡山市南
区浜野は「イベント
をきっかけに、避難し
てきた被災者の継続的
な支援ができれば」と
話している。

参加を希望する被災
者は29日まで、石川さ
ん(090-9411-
1809)かホーム
ページ(<http://papa.yamanashi.com/>)に受
け付けNo.

2011年(平成23年)4月4日(月曜日)

山 陽 新 幹 線

電車内紙芝居に避難家族

子育てサークル招待「新しい友達できた」

岡山電気軌道

岡山、倉敷市の女性でつ
くる子育てサークル「バビ
ママ」は3日、貸し切りの
路面電車内で紙芝居を
楽しむイベントを開催。乳
幼児と保護者23組約40人
が参加した。東日本大震災
の被災地から県内の避難宅
に避難している4組9人も招
待され、同年代の子どもと
楽しい一時を過ごした。
参加者は、岡山電気軌道
の岡山駅前から路面電車
2両に分かれて乗車し、東山
車庫(岡山市中区徳吉町)ま
で移動。紙芝居のほかに、
市紙芝居を上演したり、
電車の運転台に座って運
転士気分を味わったりした。
福島第一原子力発電所の
事故への不安が、3月19
日の避難生活で、被災者
は「新しい友達できた」と
話している。



路面電車内で紙芝居を楽しむ坂本さん親子(手前左)と岡山市中区徳吉町で

2011年(平成23年)4月4日(月曜日)

山 陽 新 幹 線

被災母子に笑顔を

子育てサークル 路面電車で催し



岡山、倉敷市の母親た
ちがつくる子育てサークル
「バビママ」が3日、岡山
市中心部の路面電車2両を
借り切って催すイベントを
開いた。東日本大震災で県
内に避難中の母子4組が無
料で招待され、車内でクイ
ズや紙芝居を楽しんだ。
3月の地震発生後、岡山
市の坂本優子さん(44)は
「地震以降、一人だけでは
生きていけない」と感じてい
ます。参加できると本当に
うれしかったと話した。
震災後の断水事故で、地
元の水道水から放射性物質
が検出され、福祉市の実家
に避難。福島県警に勤務す
る夫は、今も現地で災害対
応にあたっているという。
4組を含む参加者約40人
は、岡山駅前電報から東山
車庫(岡山市中区徳吉町)ま
で移動。紙芝居のほかに、
市紙芝居を上演したり、
電車の運転台に座って運
転士気分を味わったりした。
福島第一原子力発電所の
事故への不安が、3月19
日の避難生活で、被災者
は「新しい友達できた」と
話している。

岡山、倉敷市の母親た
ちがつくる子育てサークル
「バビママ」が3日、岡山
市中心部の路面電車2両を
借り切って催すイベントを
開いた。東日本大震災で県
内に避難中の母子4組が無
料で招待され、車内でクイ
ズや紙芝居を楽しんだ。
3月の地震発生後、岡山
市の坂本優子さん(44)は
「地震以降、一人だけでは
生きていけない」と感じてい
ます。参加できると本当に
うれしかったと話した。
震災後の断水事故で、地
元の水道水から放射性物質
が検出され、福祉市の実家
に避難。福島県警に勤務す
る夫は、今も現地で災害対
応にあたっているという。
4組を含む参加者約40人
は、岡山駅前電報から東山
車庫(岡山市中区徳吉町)ま
で移動。紙芝居のほかに、
市紙芝居を上演したり、
電車の運転台に座って運
転士気分を味わったりした。
福島第一原子力発電所の
事故への不安が、3月19
日の避難生活で、被災者
は「新しい友達できた」と
話している。



車窓から、アンパンマンのイラストを見つけて大喜び＝岡山市北区

や衣装、玩具の貸し出しも
している。問い合わせは石
川さん(090-9411-
1809)へ。(岡山市)

子育て中の母親らでつくる「岡山子育て応援団パピママ」(岡山市南区浜野、約50家族)は、福島第1原発事故で岡山県内に避難し

ている主婦を講師に韓国料理の講習会を企画している。主催イベントで知り合ったのがきっかけで交流が深まった。

子育てグループ(岡山)と交流

料理の講師役も快諾

福島第1原発事故で避難の坂本さん



パピママのメンバーと料理教室の打ち合わせをする坂本さん(右から2人目)と寛樹ちゃん

主婦は福島市から総社市の実家に自主避難している坂本優子さん(40)。同原発事故で水道水から微量の放射性物質のヨウ素とセシウムが検出されたのを受け、長男寛樹ちゃん(3)を連れて3月中旬に帰郷。パピママが今年3月に岡山市内で親子イベントを開くのを知り参加した。

自主避難のことを知ったパピママ側は、坂本さんの要望を聞き幼稚園に通う寛樹ちゃんが履く靴を会員から募って用意して迎えた。

この日のイベントで親しくなり、坂本さんが5年間韓国で暮らした経験があることを聞いた会員が、韓国料理の教室開催を打診。坂本さんも講師役を快諾した。

話している。

パピママは子育て中の避難者を対象に、ベビー用品やおもちゃな

どの提供・貸し出しを9) またはホームページに行っている。問い合わせは石川さん(090-9411-189)

シ(<http://papyma.malcom/>)。(池葉須則夫)

夫が福島市内に残っている坂本さん。自宅の片付けや寛樹ちゃんの幼稚園入園など多忙な日々が続いているといい、教室は坂本さんの都合に合わせて来月中にも開く予定にしている。

パピママ運営者の一人、石川智美さん(34)は「岡山市南区浜野」は「避難してきた人にも同じ子育て仲間として、楽しい思い出を作ってもらいたい」とし、坂本さんは「同年代の母親らと交流することでお互に安らぐ。料理教室も楽しみ」と

育児支援施設・サービスを活用しませんか

岡山で子育てするママを応援する5つのサイトを紹介！

ばらママ
http://www.baramama.jp
☎ 086 (238) 8037 事務局 (中区平井)

はらママ



岡山で子育て中のママが立ち上げた情報&コミュニティサイト。ホームページでは主催イベントを随時公開。イベントは登録なしで、誰でも参加可能(実費が必要)。岡山の公園情報なども更新中。

NPO 法人 岡山市子どもセンター
http://www.kodomo-npo.jp
☎ 086 (242) 1810 (北區大光・旧白石駅前南内)

特定非営利活動法人 岡山市子どもセンター



「おかやまアワード2011」で大賞を受賞したNPO団体。舞台芸術鑑賞会や自分の責任で自由に遊ぶをモットーに子どもが主役の遊び場「おかやまプレーパーク」(場所/こどもの森・北區宇南町、水〜日曜10:00〜17:00、無料、自由参加)を主催。

NPO 法人 ひこうせん
http://www.npo-hikosen.com
☎ 0869 (54) 0057 事務局 (備前市伊部)

ひこうせん



古民家を借りて、子育てをサポート。地域子育て支援拠点事業として、月〜木曜の10:00〜15:00は、乳幼児を対象に予約なしで誰でも集える「わくわく〜む」を開設。出前講座なども開講。

新年度がスタートして2カ月。新しい環境、園や学校での生活に慣れず、お子さんだけでなく、不安を抱える親御さんも多い時期。今回のハッピーママ&キッズでは、NPO法人や地元で子育て中のママたちが運営するサークル活動やサービスが紹介されているホームページサイトをピックアップ。紹介する5つのサイトの活動には、誰でも参加できるので、友達作りやリフレッシュに出掛けてみませんか。

NPO法人 0-99おかやまおしえてネット
http://www.0-99net.org
☎ 086 (250) 8128 (北區中)

おしえてネット



小児科医や栄養士、保育士が語る。はじめての子育てママ読者の多い、オープンなスタイルの「たくじ」。モンテッソーリ資格指導者による親子の集いや教室(小学2年生まで)、博物館や企業と連携した活動など、親子関係の構築を目的としたさまざまな活動を行う。

PaPY MaMa (パピママ)
http://papymama.com
☎ 090 (3411) 5889 事務局 (南区長瀬)



現役の母親4人が立ち上げたサークル。会員の要望に応える形で、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催。最近では、「春らんらん紙芝居ほびいさん」と行く！チンドン電車だ！を実施。現在会員数は50家族以上。初回は参加費のみで参加可能。以降会員制。

ハッピーママ&キッズ

子育てママを応援!!

初夏号



子育て真っ最中のパパママが
知りたいお役立ち情報を
隔月1回お届けします。

避難者住民らと触れ合い

北区 子どもらメッセージ



被災地に向けたメッセージを書く子どもら（岡山市北区の吉備津彦神社で）

岡山市北区一宮の吉備津彦神社では、県内に避難してきた東日本大震災の被災者の生活を手助けしているボランティア団体「おいでんせえ岡山」が支援イベント「6・11」を開催し、被災者と県内の親子連れらがチャリティーバザーやアートで触れ合った。

被災者支援各地で催し

東日本大震災3か月

東日本大震災の発生から3か月を迎えた11日、再建途上の被災地と被災者を支援しようと、県内各地で様々なイベントが開催された。

被災者が孤独にならないよう、交流の場をつくらうと、神社境内の建物内に3ブースを設け、子ども連れ同士で楽しめる「バルーンアートやメッセージカード教室を開催。子ども服やタオルを売るチャリティーバザーも催し、被災者には商品を無料で提供した。縦1メートル、横20センチの布も用意されているという。

参加者が「日本がんばれ、東北がんばれ」などとメッセージを書き込んでいた。

福島第一原子力発電所の事故で県内に避難した人たちが集まり、「知り合いがいなくて、交流の場をつくらうと、神社境内の建物内に3ブースを設け、子ども連れ同士で楽しめる「バルーンアートやメッセージカード教室を開催。子ども服やタオルを売るチャリティーバザーも催し、被災者には商品を無料で提供した。縦1メートル、横20センチの布も用意されているという。

震災の県内避難者支援しよう

東日本大震災の被災者を受け入れ活動を行うボランティア組織「おいでんせえ岡山」は6月11日、岡山市北区一宮の吉備津彦神社で、同市内の子育て支援グループなどとともに、チャリティーイベント「6・11 day of support」を開催し、被災者を受け入れる県内に避難している親子らを

吉備津彦神社で来月11日

招き、楽しい一日を過ごしてもらおうと企画。避難してきた人の子育て用品などの提供支援を行っている岡山子育て応援団・パピママも賛同した。

義援金、生活物資受け付け

被災者を受け入れる県内に避難している人たちが未来に向けて再出発しようという気持ちになれるようなイベントにしたい」と話している。

横断幕にメッセージ

吉備津彦神社（岡山市北区一宮）で11日、震災支援イベントが開かれた。被災地から避難してきた親子も招待され、交流を深めた。

被災者受け入れ活動ネットワーク「おいでんせえ岡山」の呼びかけに、地元町内会などが協力、被災地に送る生活物資を受け付け、市民アーティストが絵がきを販売した。収益の一部を義援金にする。

福島や関東から避難してきた7家族が招かれ、ベビーバスなどの無償提供を受けた。1歳と4歳の娘を連れて、横浜から岡山市に引っ越してきた女性（37）は、他の家族と連絡先を交換。「子どもの将来を考えると放射能の影響が不安で岡山に来た。寄り添える機会があるのはありがたい」と話して

岡山 避難の親子も交流



子どもたちが「日本がんばれ 東北がんばれ」などとメッセージを寄せた＝吉備津彦神社

会場には、横20センチ、縦1・1メートルの横断幕も用意され、来場者が「一日も早くもともどりますように」などとメッセージを書き込んだ。横断幕は市番屋に設置し、被災地へ送る（藤原学恵）



東日本大震災発生3ヵ月

被災者 催しで支援 バザーや物資受け付け

岡山・市街地団体 東日本大震災の被災者支援イベントが開催された。

発生3ヵ月となる日、岡山市北区一宮の吉備津彦神社で、県内に避難している親子連れらを集め、チャリティーバザーや物資受け付けを行った。チャリティーバザーは、子ども服やタオルを売るチャリティーバザーも催し、被災者には商品を無料で提供した。縦1メートル、横20センチの布も用意されているという。

避難者に使ってもらえる生活物資の受け付けやバザーも実施。子ども服やタオルが提供されたほか、バザーでは、被災者を受け入れる県内に避難している人たちが未来に向けて再出発しようという気持ちになれるようなイベントにしたい」と話している。

2011年(平成23年)9月23日 金曜日

県内避難者に物資を

倉敷、岡山市を拠点とするサークル「岡山子育て応援団パピママ」は、東日本大震災チャリティの子育てイベント「パピママ祭」を25日午前10時～午後4時、倉敷市中央の市芸文館前広場で開く。ステージショーなどに加え、県内に避難している被災者への支援物資を受け付ける。

支援物資はトイレットペーパーや洗剤、食器、家電、家具など幅広い生活用品。大型品は当日の受け渡しでなく、連絡先を伝える。被災者の

25日倉敷「パピママ祭」

受け入れ活動をしている「おいでんせえ岡山」を通じ、被災者に届ける。チャリティバザーや、風船の販売利益を全額義援金に充てるバルーンリリース(1個200円)なども行う。

生活用品受け付け ステージショーも

ステージでは、倉敷市立短大生のリズム体操や和太鼓演奏、紙芝居の読み聞かせなどを実施。缶バッジや万華鏡作りのコーナーもある。

雨天の場合は館内で午前11時～午後3時。問い合わせは石川智美さん(090-9411-1899)。



山 陽 新 聞
倉敷都市圏 2011年(平成23年)9月27日 火曜日

リズム体操や 手製雑貨販売

倉敷でパピママ祭

震災支援も

倉敷、岡山市の主婦らでつくる子育て支援グループ・岡山子育て応援団パピママは25日、倉敷市中央の市芸文館前広場で「パピママ祭」を開き、多彩な親子向けイベントや東日本大震災の支援活動を展開した。

倉敷、岡山市の主婦らでつくる子育て支援グループ・岡山子育て応援団パピママは25日、倉敷市中央の市芸文館前広場で「パピママ祭」を開き、多彩な親子向けイベントや東日本大震災の支援活動を展開した。

倉敷、岡山市の主婦らでつくる子育て支援グループ・岡山子育て応援団パピママは25日、倉敷市中央の市芸文館前広場で「パピママ祭」を開き、多彩な親子向けイベントや東日本大震災の支援活動を展開した。

倉敷、岡山市の主婦らでつくる子育て支援グループ・岡山子育て応援団パピママは25日、倉敷市中央の市芸文館前広場で「パピママ祭」を開き、多彩な親子向けイベントや東日本大震災の支援活動を展開した。



東日本大震災の被災者支援の思いを込めたバルーンリリース

物資を募るコーナーに洗剤や食器など生活用品が続々と寄せられたほか、風船の販売利益

を義援金に充てるバルーンリリースもあり、約100個が秋空へ放たれた。(水嶋佑香)

同応援団は昨年結成、初めて大型イベントを開いた。

忘れない…東日本大震災から1年 私たちができる復興支援

東日本大震災から1年が経ちました。震災は被災者支援のみならず、人々の心に大きな傷を残し、多くの命を奪った災害です。そんな中、被災地では被災者支援だけでなく、被災者の生活を支えるための活動が行われています。被災者の生活を支えるためには、被災者の生活を支えることが大切です。



東日本大震災から1年が経ちました。被災者の生活を支えることが大切です。

カフェで情報交換・発信 「みちのくカフェ」



東日本大震災から1年が経ちました。被災者の生活を支えることが大切です。

復興支援の「みちのくカフェ」は、被災者の生活を支えるための活動を行っています。被災者の生活を支えるためには、被災者の生活を支えることが大切です。



東日本大震災から1年が経ちました。被災者の生活を支えることが大切です。

避難母子との絆を広げる「岡山子育て応援団パピママ」



東日本大震災から1年が経ちました。被災者の生活を支えることが大切です。

避難母子との絆を広げる「岡山子育て応援団パピママ」は、被災者の生活を支えるための活動を行っています。被災者の生活を支えるためには、被災者の生活を支えることが大切です。



東日本大震災から1年が経ちました。被災者の生活を支えることが大切です。

「忘れない」気持ちで、復興を後押し

「忘れない」気持ちで、復興を後押し。被災者の生活を支えるためには、被災者の生活を支えることが大切です。

被災者の生活を支えるためには、被災者の生活を支えることが大切です。



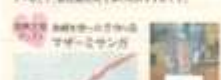
東日本大震災から1年が経ちました。被災者の生活を支えることが大切です。

「忘れない」気持ちで、復興を後押し

「忘れない」気持ちで、復興を後押し。被災者の生活を支えるためには、被災者の生活を支えることが大切です。

今すぐできる！復興支援

1 復興支援の第一歩



東日本大震災から1年が経ちました。被災者の生活を支えることが大切です。

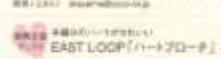
被災者の生活を支えるためには、被災者の生活を支えることが大切です。



東日本大震災から1年が経ちました。被災者の生活を支えることが大切です。

「忘れない」気持ちで、復興を後押し

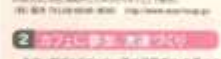
「忘れない」気持ちで、復興を後押し。被災者の生活を支えるためには、被災者の生活を支えることが大切です。



東日本大震災から1年が経ちました。被災者の生活を支えることが大切です。

「忘れない」気持ちで、復興を後押し

「忘れない」気持ちで、復興を後押し。被災者の生活を支えるためには、被災者の生活を支えることが大切です。



東日本大震災から1年が経ちました。被災者の生活を支えることが大切です。

「忘れない」気持ちで、復興を後押し

「忘れない」気持ちで、復興を後押し。被災者の生活を支えるためには、被災者の生活を支えることが大切です。



東日本大震災から1年が経ちました。被災者の生活を支えることが大切です。

「忘れない」気持ちで、復興を後押し

「忘れない」気持ちで、復興を後押し。被災者の生活を支えるためには、被災者の生活を支えることが大切です。

被災者の生活を支えるためには、被災者の生活を支えることが大切です。

岡山、倉敷の子育てサークル「パピママ」

菓子や衣類募る

菓子や衣類募る。被災者の生活を支えるためには、被災者の生活を支えることが大切です。

子どもたちへ物資を

3・11 東日本大震災から1年

岡山、倉敷市の母親たちでつくる子育てサークル「岡山子育て応援団パピママ」は、東日本大震災の発生から1年となる3月11日に、被災地の子どもたちにお菓子や衣類・肌着、歯ブラシなどを届けることにし、物資の提供を呼び掛けている。被災地への応援メッセージがびっしりと書き込まれた白い布袋に詰めて贈る。(斎藤英宗)



応援メッセージが書き込まれた布袋を折り分け、支援物資を入れる袋を作るパピママのメンバー

避難者の孤立を防ぐ

交流や住居提供拡大

東日本大震災1年

継続支援の決意

① 寄り添う

が、昨年東京から避難してきて同じ境遇だと知り、心強く感じた。この日、吉備津彦神社(岡山市北区一宮)での朝市もメンバーと訪れた。その後も会のミーティングに参加し、移住者同士の集まりにも誘われた。以前は想像できなかった出会いの日々が続いている。

この日、吉備津彦神社(岡山市北区一宮)での朝市もメンバーと訪れた。その後も会のミーティングに参加し、移住者同士の集まりにも誘われた。以前は想像できなかった出会いの日々が続いている。

誰とも話さず

五十嵐さんは、千葉

は、震災後に岡山、倉

おいでんせえ岡山



「おいでんせえ岡山」が京橋朝市の会場に設けたブース。メンバーとの相談で自主避難者の表情が和らいだ＝4日

「おいでんせえ岡山」が京橋朝市の会場に設けたブース。メンバーとの相談で自主避難者の表情が和らいだ＝4日

とし、母子計約20組を受け入れてきた。利用者は「同じ思いや悩みを分かち合えるアメリカン」を通じて、短期滞在後、町内に移

住した親子も10組に上り、新たなコミュニティができていく。避難者は「自主避難者のニーズは依然として多い」と指摘する。

イベント招待 竹枝小学校(岡山市北区遠田町吉田)の手配が広まり、4月まで避難者が4世帯14人に上ることが見込まれる。岡山、倉敷市内の母

でんせえ岡山の佐藤さん。昨年10月から福島県、東京都の2世帯8人を受け入れた。岡山子育て応援団「ピママ」は、避難してきただけの子をイベント呼び掛け、家主との交流に招待したり、ベビー用品の貸し出し・提供などを行い、約40組の避難者が4世帯14人に上ることが見込まれる。岡山、倉敷市内の母

避難者をきめ細かに支援していく意向だ。

る。昨年10月から福島県、東京都の2世帯8人を受け入れた。岡山子育て応援団「ピママ」は、避難してきた母子らをイベントに招待したり、ベビー用品の貸し出し・提供などを行い、約40組の避難の親子がメンバーにも加わった。引き続き避難者をきめ細かに支援していく意向だ。

空き家情報の提供を呼び掛け、家主との交渉も行う。「自然が豊かで住みやすい」と評判が広まり、4月までに首都圏から4世帯14人が移住する予定だ。岡山、倉敷市内の母

石川 智美さん

LIVING

2013.4.13 1773号

暮らし
くらしみ

岡山リビング新聞社
〒760-0811 岡山県岡山市東区山手1-1-1
086(235)2400 086(231)655

岡山朝日118.5 3年保証

新年度ゼミ 申込受付中

能開センター

0120-047-052

http://mokai.jp/

自分の軸を
持てば大丈夫

ママ友づきあいの極意

入園、入学、進級の時期、子どもに新しい友達ができるように、ママにとっても新たな付き合いの始まる時です。親子サークルを主宰し、ママからの相談もよく受けている「バビママ」の石川美さんから、ママ友との上手な付き合い方をお聞きして、5カ条にまとめました。読者のエピソードも5面で紹介しします。

石川美さん

岡山県、倉敷市を中心に活動する親子サークル「岡山子育ての楽園バビママ」発起人、代表理事。ママ友、ママ友会、ママ友会などを通じて、ママとママの関係を築いていく。



第1条 みんなにあいさつする

初対面から「メールアドレスを交換しようよ」などと誘われる人もいますが、無理すると失敗することが多いようです。まずはきちんとあいさつして顔と名前を覚えていきたいと思います。

私の考えでは、地帯にあいさつをして、最初はフットボールに遊びに行くのがいいと思います。あるグループにがつり着いてしまうと、そのグループ以外の人の付き合いが難しくなります。私は、お迎えに行ったときにみんなと地帯に遊びに行きます。そうしているうちに気が使われていく。



イラスト：藤田真由

石川さんから アドバイス

日本人って一人に合わせるのが得意と聞いている人が多いです。でも、みんなとよく関わり行動をする必要はない。一人一人違うのが当たり前。あの人はこういう人だからと合わせてしまったり、それはそれでいいですよ。自分一人でもいけるけど、子どもに合わせる必要はない。子どもは「子どもだから」という理由でママも多岐にわたります。ちょっと考え方を転換してみよう。

お子さんが「今日は一人で遊んだ」と言ったら、「どうしたの、かわいそうに」と言う人が多々あります。私だったら、子どもから「60分とかどうやっても遊べないよ」と言えたら、結構いい加減に「お」と言います。もちろん友達と遊ぶことも大切ですが、一人の時間を楽しむのも大切だから、「一人づつ」という考え方を教えてあげたいですね。一人が休んでくると、人間って強くなるものなんです。

5面へ続く

第2条 断る勇気を持つ

自分の気が進まないことへの参加を促されたときにどうするか。嫌だったら「今日はごめん」と断る勇気を持ちましょう。3日に1回は行くとか、自分が適度と断る範囲にして無理はしないこと。断り方として「今日は先が早く帰ってくるから家にいてあげたいの」など、夫を引き合いに出すのも一案です。

第3条 ポジティブに割り切る

誰とどんなにかかわりをするか。この人は子どもを通してお付き合いをする人なのか、自分から進んでお付き合いをしたい人なのか。どうしてもお付き合いをせざるを得ない人なのか、みんな口に出さずともジャンル分けをしているはずです。その中で、「相手だけどうしてもお付き合いをしなければならない」という関係が心の負担になります。一概に割り切ることが「早断するまでの手段」「あと何年かの付き合いだ」と割り切ることで。

また、相手本人に対して相手の性格や価値観を変えようと思っても無理なので、相手に求めること、自分が普段通りの態度で接していれば、しばらくして関係性が変わり、ゆるくなるケースもあります。

第4条 自分の軸を持つ

誰かを言っている人の多くが、ねたんでいる。悪い言い方ではあるけど、ねたんでいる。私は嫌いな人「もうええや」と打ち切った。別行動を取るようになっています。自分から付き合いをしないためには、自分の時間をもち、趣味を持ち、目標を持ってそれに従うこと。そうして自分から付き合いを断っている場合じゃありません。そもそも断った以上は、腹をくくって子どもを育てる覚悟が必要です。自分の中にぶれない軸が一本立っていないと、子どもを守ってやれないでしょう。人の言やうわさを気にする暇があるなら、子どもに目をかけてあげて、とりたいです。

第5条 ほがの人間関係もつくる

悩んだり迷ったりしたとき、当事者や周辺の人に相談すると合計3割の可能性がある。全然関係ない（西母さんに相談するのがオススメ）。別に自分が相談されたときは、相手の子育て方針は口出しせず、「私ならこうするかな」と、本人が最終的に判断する上で参考になるようなアドバイスをします。ママとは親戚以外の人関係もつくる。いろいろな人があつくと、どこかで必ず出合います。自分のことを分かってくれる、本当の友達と。ママ友と、幼稚園や小学校以外でつづけてもいいじゃないですか。

朝生搾り立て1本



毎日配達 1本 120円

(有) 通商青汁産業 086-422-6610

Living Bambini

リビングバンビーニ

Autumn Vol.5

遊ぶ・学ぶ・育つ 健やかな成長を応援する子育てガイド Free

2013年10月12日 1392号

リビング おかやま

発行 岡山リビング新聞社
〒700-8613 岡山市北区中山下2丁目8番4号
☎086(235)2200 086(235)1655

岡山リビング新聞社 ☎086(235)2200
〒700-8613 岡山市北区中山下2丁目8番4号 <http://www.lito.co.jp/okayama/>



- ◆ステージ…もちまき大会、バルーンリリース、親子張り競争
- ◆ファッション…布・革小物、アクセサリー、雑貨、ベビー・キッズ服の販売、パピママ会員手作り品とフリーマーケットなど
- ◆グルメ…乳製品フリーの焼き菓子、玄米コーヒータンファンゲータン、キーマカレー、ドリンクの販売
- ◆住まい…木工教室の本棚作り、西洋漆喰(しっくい)の壁塗り体験、フレンチキュウのバスルゲームなど
- ◆楽しむ…オリジナルバッグ作り、マスキングテープを使ったアルバム作り、ボーセラーツ体験、カジュアルフォトなど
- ◆癒やす…バスアート、インフルエンス手ぬぐい作り、ハンドマッサージ、カラーセラピーなど

子どもを真ん中にして家族が1日楽しめる！
「パピママ祭」開催
10月27日(日)倉敷市芸文館広場
リアル体験できるワークショップも

ファミリーで楽しめる「パピママ祭」が、10月27日(日)午前10時から午後4時、倉敷市芸文館広場(倉敷市中央)で開催されます。入場無料。雨天決行。※雨天の場合は午前11時から午後3時

主催は、現役ママたちが運営する家族サークル「岡山子育て応援団 パピママ」。「暮らしを楽しく」をテーマに、子どもも大人もファミリーで楽しめる企画や体験コーナーが盛りだくさんです。

「子どもたちを真ん中にして、家族が1日中楽しめる場所になりたい。リアル体験のできるワークショップもいろいろある」と運営者・石川智美さん。ワークショップは一部有料。申し込み不要。問い合わせは☎090(941)1899 パピママ石川さんへ。



- 子育て中のママが作った雑貨 手作りの子ども服や布小物
- 飲食コーナーもあります ワークショップは当日受け付け。一部有料
- ◆ステージ…もちまき大会(10:00~11:00)、バルーンリリース(11:00~12:00)、親子張り競争(13:00~)
- ◆ファッション…布・革小物、アクセサリー、雑貨、ベビー・キッズ服の販売、パピママ会員手作り品とフリーマーケットなど
- ◆グルメ…乳製品フリーの焼き菓子、玄米コーヒータンファンゲータン、キーマカレー、ドリンクの販売
- ◆住まい…木工教室の本棚作り、西洋漆喰(しっくい)の壁塗り体験、フレンチキュウのバスルゲームなど
- ◆楽しむ…オリジナルバッグ作り、マスキングテープを使ったアルバム作り、ボーセラーツ体験、カジュアルフォトなど
- ◆癒やす…バスアート、インフルエンス手ぬぐい作り、ハンドマッサージ、カラーセラピーなど

おかやま 街ネタウオッチ

子どもを真ん中に楽しむ「パピママ祭」
10月27日(日)倉敷市芸文館で開催

ファミリーで楽しめる「パピママ祭」が、10月27日(日)午前10時から午後4時、倉敷市芸文館広場で開催されます。入場無料。雨天決行。※雨天の場合は午前11時から午後3時

主催は、現役ママたちが運営する家族サークル「岡山子育て応援団 パピママ」。「暮らしを楽しく」をテーマに、子どもも大人もファミリーで楽しめる企画や体験コーナーが盛りだくさんです。

「子どもたちを真ん中にして、家族が1日中楽しめる場所になりたい。リアル体験のできるワークショップもいろいろある」と運営者・石川智美さん。ワークショップは一部有料。申し込み不要。問い合わせは☎090(941)1899 パピママ石川さんへ。

2013年10月19日 1296号

リビング くらしま

発行 岡山リビング新聞社
〒700-8613 岡山市北区中山下2丁目8番4号
☎086(235)2400 086(235)1655

今までのパピママまつりの
際、今回は全額1000円を
超えるミニ新幹線無料体験
コーナーが新登場。ママが楽し
めるワークショップも多数



ママも子どももワクワク 「パピママまつり」岡山で初開催

6月21日(土)午前10時～午後4時
桃太郎アリーナサブ体育館と周辺



西川敬子さん(左)と石川智美さん

これまでは倉敷で開催されていた「パピママまつり」が、今回は岡山で初開催。日時は6月21日(土)午前10時～午後4時、会場は桃太郎アリーナ・サブ体育館と周辺北區いすみ町です。入場無料。雨天決行。※雨天の場合は午前11時～午後3時
現役ママが運営する家族サークル「岡山子育て応援団パピママ」が主催。「子どもを遊ばせて親は付き添い」というパターンになりがちですが、子どもだけでなく、ママもパパも楽しめるイベントを目指しています。これまで倉敷で開催されていた「パピママまつり」が、今回は岡山で初開催。日時は6月21日(土)午前10時～午後4時、会場は桃太郎アリーナ・サブ体育館と周辺北區いすみ町です。入場無料。雨天決行。※雨天の場合は午前11時～午後3時
現役ママが運営する家族サークル「岡山子育て応援団パピママ」が主催。「子どもを遊ばせて親は付き添い」というパターンになりがちですが、子どもだけでなく、ママもパパも楽しめるイベントを目指しています。

- ◆ステアジャーじゃんけんサンタ(10:00～13:45)、マリンライナーズ(10:15～15:00)、ゴスペル(14:00～)
- ◆ファッション・布小物、アクセサリー、雑貨、ベビー・キッズ服の販売、パピママ会員手作り品、消しゴムはんこなど
- ◆グルメ・カレー、串揚げ、バーガーなど
- ◆住まい・工作体験、木工教室、コースター作りなど
- ◆美しローミエ新幹線運転、フォトグラファーによる親子撮影会、開運占い、ハーゼラーツ作り、ジャグリング体験など
- ◆癒やすーハンドマッサージ、ルームスプレー作り、骨盤のゆがみチェックなど

す」と運営者・西川敬子さん。参加者だけでなく、ママの出店も多いまつりです。同じく運営者の石川智美さんは「ママが出店も参加も両方楽しめる工夫をしています。出店者ママの子どもを世話する学生ボランティアも参加してくれそうです」と話します。駐車場の台数に限りがあるので、公共交通機関の来場がおすすめ。問い合わせは090(9411)1899パピママ・石川さんへ。

2014年6月21日 1422号

リビング
おがやま

発行 岡山リビング新聞社

〒700-8613 岡山市北区中山下2丁目9番4号

TEL 086(235)2200 FAX 086(235)1655

親子制作体験 雑貨の販売も

倉敷・子育て応援フェスタ

ものづくり体験やお母さんたちのハンドメイド雑貨の販売など多彩な催しを集めた「岡山子育て応援フェスタ」が4日、倉敷市中央の市芸文館前広場で開かれ、大勢の家族連れらでにぎわった。

山陽新聞社の会員制子育て支援サイト「La Okayama」が並んだ。

シール状の転写紙を協力して思い思いのオ使って皿などを装飾する「ポーセラーツ」のコーナーでは、親子でにスプーンを作った山



オリジナルの食器作りを楽しむ親子連れら

下由貴子さん(32)＝倉敷市沖＝は「親子で楽しめました。スプーンは、子どもたちのおままごとに使えそう」と話していた。(大江恵里奈)